

【大規模建設事業評価監視委員会でのご意見及び対応方針（案）】

■(1) 県都新潟の拠点化と安心して暮らせる持続可能な交通とまちづくり 【事前評価】

項目	委員のご意見	評価監視委員会のご意見を踏まえた今後の対応方針
① 意見・要望 (小田委員)	(仮称)上所駅整備について、計画に示されている実際の事業費と、B/C(費用対効果)を算出する際に使用している事業費が異なっているのはなぜか。	(仮称)上所駅整備のB/C(費用対効果)に使用する事業費については、整備(事業費の発生)から供用(効果の発現)までの期間の物価(貨幣価値)の変動を考慮し、実際の事業費に補正を加えることで、現在価値(供用時の価値)として算出しています。そのために実際の事業費とは異なっています。
② 意見・要望 (鷺見委員)	成果目標と上位計画との整合性は図られているか。(どのように上位計画に貢献しているのか)	上位計画である「にいがた都市交通戦略プラン」では、成果目標に関連する項目として、都心方面を結ぶ公共交通の利用促進に向けたサービス強化や、交通手段間の役割分担と結節強化、地域のまちなかへの居住・施設立地誘導との連携等が示されており、整合が図られています。
③ 意見・要望 (椎谷委員)	成果目標の「都心の公共交通に関する市民満足度の維持・向上」について、市民満足度で「不満」と回答した人の具体的な意見はどういったものか。	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度については市政世論調査をもとに指標値を算出していますが、この調査結果からは具体的な意見を把握することはできません。 ・令和元年度に実施したバス利用者へのアンケート調査の結果からは、BRTの「乗り換え」という手法に対して、「路線網の維持は必要だが、乗り換えへの協力は難しい」との回答が42%と最も多い結果となっています。特に高齢者や通院目的のバス利用者にとって「乗り換え」への負担感が顕著に示されており、さらには、「バス待ち環境」や「乗り換えの待ち時間」、「乗り換えの移動距離」について、とりわけ満足度が低いといった結果になっています。